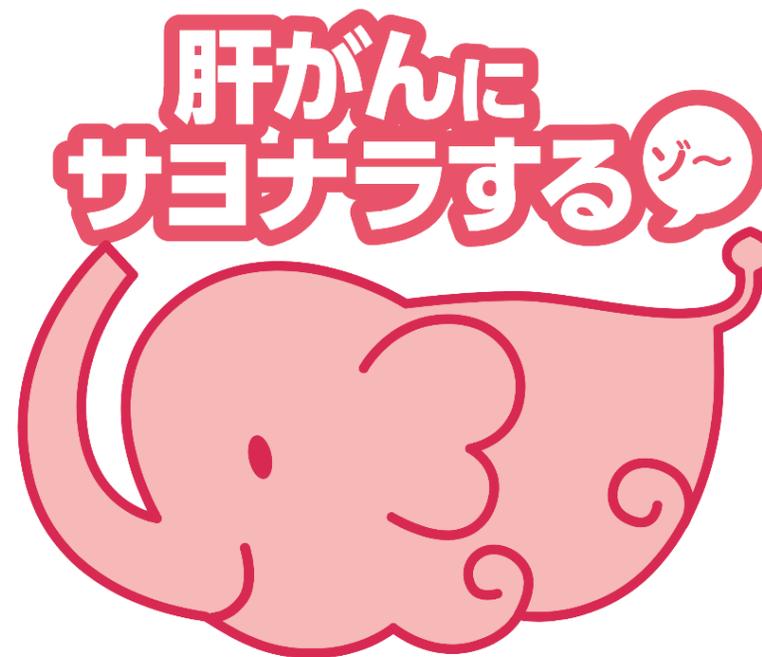


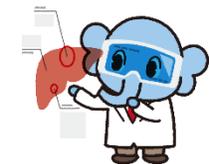
令和7年度肝炎対策地域ブロック戦略合同会議の纏め



↑ 肝炎・免疫研究センター



↑ 受検受診向上班
イメージキャラクター：かんゾ〜ちゃん

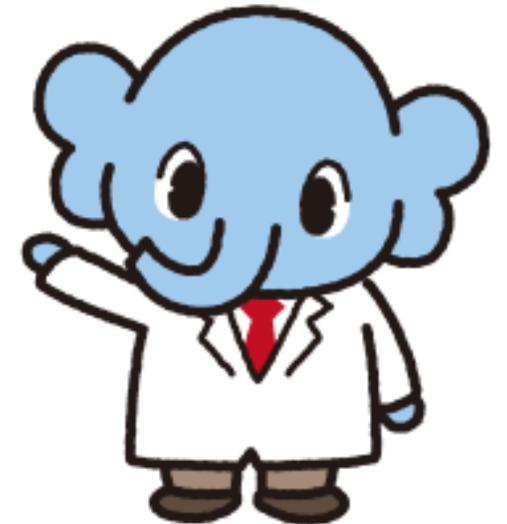


令和7年度肝炎対策地域ブロック戦略合同会議の纏めと共有

令和7年度 肝炎対策地域ブロック戦略合同会議ハイブリッド配信にご参加くださりありがとうございます（現在、確認用の動画配信中です）

1. ブロック会議とは・出席状況

2. アンケート調査 活動事例/総合討論



JIHS

Japan Institute for Health Security

肝炎対策地域ブロック戦略合同会議とは？

(通称 **ブロック会議**)

- 平成28年度から新たに開始された会議 (10回目)
- 参加者：拠点病院、都道府県・保健所設置市行政担当者、肝炎対策推進室、
- 全国を①北海道・東北、②関東信越、③東海北陸、④近畿、⑤中国四国、⑥九州の6ブロックに分けて、肝炎対策に係る各地域での課題解決に資する情報提供、連携協力体制構築などに資する会議を開催するもの

- ◆ 「**顔の見える会議**」である利点を活かし、拠点病院、都道府県・保健所設置市担当者、厚労省等の関係者に有用な情報を共有し、**各地域における課題解決・連携強化へ貢献する会議運営**に努めていく
- ◆ **総合討論の充実**を図っていく

セミクローズの会・配布資料公開無(二次利用には出典記載)

双方向性の維持が重要(ハイブリッド配信は継続します)

そもそもブロック会議とは？

知っておいて欲しいこと

 厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare
6～7月
地方厚生7(支)局
で肝炎対策会議

都道府県行政担当47
+保健所設置市(政令市20
+中核市62+三号市5)

*2015～オブザーバー参加

2016年～



肝疾患診療連携拠点病院
(47都道府県・72施設)

- ✓ 地方公共団体としては肝炎対策室から直接説明・質問が可能な年度初めての会議
⇒保健所設置市はしっかり聞きたい
- ✓ 配布資料：電子媒体無・参加者へ当日配布(肝炎室分、情報センター分をそれぞれが印刷)
- ✓ 議事録、Agendaも公開無
⇒セキュリティを担保が必要
⇒最新の研究報告が確認可能

肝炎対策推進室が各ブロックに出向き
都道府県に加え 保健所設置市に
肝炎総合対策について説明する会議
⇒地方公共団体が主役！！
9月末～10月末に開催

R7年度ブロック会議schedule(参加:72拠点46都道府県76保健所設置市)

世話人は勿論、実務担当+当日会場系の皆様に感謝します ⇒12自治体欠席

*hybrid欠席+オンデマンド無 下線:連続欠席 青:10月異動

ブロック名 施設数	開催日時	世話人施設	世話人	所属拠点病院・地方公共団体	開催場所
東海 北陸 27	9月29日 (月) 14時~	三重大学医学部 附属病院 会場係:3名	消化器・肝臓内科 教授 中川 勇人	富山県、石川県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、富山市、 <u>金沢市</u> 、 <u>岐阜市</u> 、静岡市、浜松市、名古屋市、豊橋市、岡崎市、豊田市、一宮市、四日市市 (6県10市)+11拠点病院	ホテルグリーンパーク 津6階 葵・橘・藤 <u>津市</u>
関東 信越 50	10月3日 (金) 13時30分	武蔵野赤十字 病院 会場係:4名	消化器内科 副部長・肝疾患相談 センター 副センター長 玉城 信治	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、水戸市、宇都宮市、前橋市、高崎市、 <u>さいたま市</u> 、越谷市、 <u>川越市</u> 、川口市、千葉市、船橋市、柏市、 <u>八王子市</u> 、 <u>町田市</u> 、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、藤沢市、茅ヶ崎市、新潟市、長野市、松本市、甲府市 (1都9県23市)+17拠点病院	東京コンファレンスセ ンター品川 402N <u>品川</u>
北海道・ 東北 30	10月6日 (月) 13時~	弘前大学医学部 附属病院 会場係:7名	消化器・血液・免疫内科 講師 飯野 勢	北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県、札幌市、旭川市、小樽市、函館市、青森市、八戸市、盛岡市、秋田市、仙台市、山形市、 <u>郡山市</u> 、いわき市、福島市 (1道6県13市)+10拠点病院	アートホテル弘前シ ティ3F エメラルド <u>弘前市</u>
九州 26	10月10日 (金) 13時~	鹿児島大学病院 会場係:4名	肝疾患相談センター センター長 馬渡 誠一	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、 <u>沖縄県</u> 、福岡市、 <u>北九州市</u> 、久留米市、長崎市、佐世保市、熊本市、大分市、宮崎市、鹿児島市、那覇市 (8県11市)+8拠点病院	鹿児島県医師会会館 3階中ホール1 <u>鹿児島市</u>
中国 四国 31	10月17日 (金) 13時~	福山市民病院 会場係:5名	医療技術部次長 藪下 和久	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県、鳥取市、松江市、岡山市、倉敷市、広島市、福山市、呉市、下関市、高松市、松山市、高知市 (9県11市)+11拠点病院	福山市生涯学習プラザ (まなびの館ローズコ ム) 4階大会議室 <u>福山市</u>
近畿 42	10月23日 (木) 13時~	大津赤十字病院 会場係:6名	大津赤十字病院 消化器内科・ 第二消化器科部長 近藤 雅彦	福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、福井市、大津市、京都市、大阪市、堺市、東大阪市、枚方市、豊中市、高槻市、 <u>八尾市</u> 、寝屋川市、 <u>吹田市</u> 、神戸市、姫路市、西宮市、尼崎市、明石市、 <u>奈良市</u> 、和歌山市 (2府5県20市)+15拠点病院	滋賀県庁 危機管理センター1階 会議室 <u>大津市</u>

25/27施設 → 2施設* (岐阜市・金沢市)

46/50施設 → 4施設登録無
(さいたま・川越・町田・八王子)

↑ hybrid欠席オンデマンド出席: 川口市・長野市

29/30施設 → 1施設* (郡山市)

24/26施設 → 2施設* (沖縄県・北九州市)

↑ hybrid欠席オンデマンド出席: 長崎市・大分市

31/31施設

↑ hybrid欠席オンデマンド出席: 高知市



39/42施設 → 2施設登録無 (吹田・奈良市)

→ 1施設* (八尾市)

↑ hybrid欠席オンデマンド出席: 堺市

出席状況1. コロナ禍以後web併用（400名以上参加）

web化で自治体(保健所設置市)の参加数増加⇒出席登録者(欠席者も含)は会議後DVD視聴可能

➤ R1会場開催 **255名**
→地方公共団体 **88自治体 114名**
→拠点病院 **67施設 143名** *アンケート返信数
225名(88%)



➤ R2オンデマンドのみ **434名**
→地方公共団体 **110自治体 206名**
→拠点病院 **71施設 228名** *アンケート返信数
413名(95%)

➤ R3ハイブリッド+オンデマンド **448名**
→地方公共団体 **114自治体 198名**
→拠点病院 **71施設 250名** *アンケート返信数402名(90%)

⇒直前にLive参加者→オンデマンド配信変更者↑

➤ R4ハイブリッドのみ+欠席者DVD **428名**
→地方公共団体 **120自治体 228名**
→拠点病院 **71施設 200名** *アンケート返信数382名(89%)

➤ R5ハイブリッドのみ+DVD(欠席者のみ) **442名**
→地方公共団体 **125自治体 242名**
→拠点病院 **72施設 200名** *アンケート返信数414名(97%)

出席状況2: 昨年度との比較 地方公共団体参加施設・人数減少も会場参加率↑

- R6 ハイブリッド開催（登録者[欠席者連絡者含]はDVD視聴可*） *自治体オンデマンド
- 全体：444名 現地226名（**現地率48%** ↓）
- 地方公共団体：246名 ↑ 現地87名（**現地率33%** ↓）
- *126自治体 都道府県 46/47施設105名 保健所設置市 **80** ↑ /87施設 141名 ↑
- 拠点病院：**198名** ↓ 現地139名（現地率67%→）
- * 71/72施設（欠席：金沢大）

- R7 ハイブリッド開催（登録者[欠席者連絡者含]はDVD視聴可*） *自治体オンデマンド
- 全体：**423名** ↓ 現地242名 ↑（**現地率54%** ↑）
- 地方公共団体：**210名** ↓ **現地90名** ↑（**現地率39%** ↑）
- *122自治体 ↓ 都道府県 46/47施設 **81名** ↓ 保健所設置市 **76** ↓ /87施設 129名 ↓
- 拠点病院：**210名** ↑ 現地**152名**（現地率70%）
- * 72/72施設

出席状況 3：昨年度との比較 全体と拠点病院→参加人数/会場参加率↑

R7ブロック名	開催都市	申込施設	総参加施設	出席人数	現地参加人数	現地率
北海道・東北30	弘前	30	29	61	33	51.6%
関東信越50	品川	46	46	93	44	45.4%
東海北陸27	津	27	25	56	33	56.9%
近畿42	大津	40	39	90	51	54.3%
中国四国31	福山	31	31	75	51	63.8%
九州26	鹿児島	26	24	48	30	58.8%
合計		200	194	423	242	54.5%

R6ブロック名	開催都市	申込施設	参加施設	出席人数	現地参加人数	現地率
北海道・東北30	秋田	30	29	65	38	53.5%
関東信越50	宇都宮	46	46	102	40	37.7%
東海北陸27	名古屋	26	24	57	32	54.2%
近畿42	大阪	41	41	86	45	49.5%
中国四国31	松江	31	31	76	37	44.0%
九州26	博多	26	25	58	34	57.6%
合計		200	196	444	226	48.1%

**会場不参加拠点病院 (11→4) 金沢(昨年欠席)・砺波・兵庫医・神戸・
+事業担当者医師参加無2：順天静岡・浜松**

R7ブロック名	開催都市	総参加施設	参加人数	現地施設数	現地施設率	現地参加数	現地率
北海道・東北 10	弘前	10	33	10	100.0%	22	63%
関東信越 17	品川	17	39	17	100.0%	27	69%
東海北陸 11	津	11	30	9	81.8%	21	70%
近畿 15	大津	15	46	13	86.7%	32	70%
中国四国 11	福山	11	39	11	100.0%	30	75%
九州 8	鹿児島	8	26	8	100.0%	20	77%
合計		72	213	68	94.4%	152	70%

R6ブロック名	開催都市	総参加施設	出席人数	現地施設数	現地施設率	現地参加数	現地率
北海道・東北 10	秋田	10	32	10	100.0%	26	79%
関東信越 17	宇都宮	17	40	11	64.7%	21	53%
東海北陸 11	名古屋	10	28	9	81.8%	22	76%
近畿 15	大阪	15	37	13	86.7%	27	73%
中国四国 11	松江	11	37	10	90.9%	25	58%
九州 8	博多	8	24	8	100.0%	18	75%
合計		71	198	61	84.7%	139	67%

出席状況4:昨年度との比較 都道府県と保健所設置市⇒会場率↑も参加数↓

会場へ不参加都道府県(12→14): **北海道** **宮城** **新潟** **群馬** **石川** **富山** **岐阜**
静岡 **山口** **鳥取** **福岡** **長崎** **宮崎** **沖縄** → *下線赤字は連続会場参加無(ポールド3年以上) 会場へ

R7ブロック名	開催都市	総参加施設	出席人数	現地施設数	現地施設率	現地参加数	現地率
北海道・東北 7	弘前	7	12	5	71.4%	7	58%
関東信越 10	品川	10	20	8	80.0%	16	76%
東海北陸 6	津	6	14	2	33.3%	7	50%
近畿 7	大津	7	10	7	100.0%	8	67%
中国四国 9	福山	9	15	7	77.8%	10	59%
九州 8	鹿児島	7	10	4	50.0%	7	58%
合計		46	81	33	70.2%	55	68%

R6ブロック名	開催都市	参加施設数	出席人数	現地施設数	現地施設率	現地参加数	現地率
北海道・東北 7	秋田	7	12	5	71.4%	7	54%
関東信越 10	宇都宮	10	25	7	70.0%	15	56%
東海北陸 6	名古屋	6	13	3	50.0%	8	62%
近畿 7	大阪	7	10	7	100.0%	7	54%
中国四国 9	松江	9	19	7	77.8%	9	45%
九州 8	博多	7	19	6	75.0%	12	60%
合計		46	98	35	74.5%	58	59%

会場参加保健所設置市(18→18): **青森** **八戸** **福島** **仙台** **川崎** **浜松** **岡崎** **名古屋** **四日市** **大阪** **高槻** **京都** **神戸**
尼崎 **大津** **福山** **佐世保** **熊本** = 継続して参加する施設+世話人地域(鹿児島不参加) 下線 世話人施設地域 緑:昨年会場参加市増加

R7ブロック名	開催都市	総参加施設	出席人数	現地施設数	現地施設率	現地参加数	現地率
北海道・東北13	弘前	12	16	4	30.8%	4	24%
関東信越20	品川	19	34	1	5.3%	1	3%
東海北陸11	津	8	12	4	40.0%	5	36%
近畿19	大津	17	34	6	33.3%	11	31%
中国四国11	福山	11	21	1	9.1%	11	48%
九州10	鹿児島	9	12	2	20.0%	3	23%
合計		76	129	18	22.2%	35	25%

R6ブロック名	開催都市	参加施設数	出席人数	現地施設数	現地施設率	現地参加数	現地率
北海道・東北13	秋田	12	21	3	23.1%	5	20%
関東信越20	宇都宮	19	37	3	15.8%	4	10%
東海北陸11	名古屋	9	16	2	20.0%	2	12%
近畿20	大阪	19	39	5	27.8%	11	27%
中国四国11	松江	11	20	1	9.1%	3	14%
九州11	博多	10	15	4	40.0%	4	27%
合計		80	148	18	22.2%	29	18%

肝炎対策地域ブロック戦略合同会議に合わせて「意見交換会」開催中 スライドせずコメントのみで進行する「真の意見交換会」⇒R8 京都

令和7年度 肝炎対策に係る意見交換会（広島県）

開催概要 ↓ <https://www.kanen.jihs.go.jp/cont/120/kaigi05.ht>

日時：令和7年10月17日（金）17:00～18:00
場所：まなびの館ローズコム（生涯学習プラザ）小2会議室
参加人数：肝炎対策推進室（3）、肝炎情報センター（2）、広島県（4）、福山市（5）、広島大学病院（5）、福山市民病院（2） 計21名

プログラム

- 開会
進行：国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター センター長 考藤 達哉
- 挨拶
厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室 B型肝炎訴訟対策室 室長 木村 剛一郎
- 肝炎対策推進室より ～開催経緯～
- 意見交換
(1) 肝炎医療コーディネーター養成講習会における県と拠点病院、拠点病院同士の連携の取組について
(2) 各拠点病院と専門医療機関の連携の取組について
(3) 拠点病院の肝炎患者相談支援センター間の連携について
- 総括
肝炎対策推進室 B型肝炎訴訟対策室 室長 木村 剛一郎
肝炎・免疫研究センター センター長 考藤 達哉
福山市民病院 医療技術部次長 藪下 和久

令和7年度肝炎対策に係る意見交換会

- 肝炎対策基本指針（令和4年3月7日改正）第9 その他肝炎対策の推進に関する重要事項（3）地域の実情に応じた肝炎対策の推進 抜粋
国及び肝炎情報センターは、都道府県間での肝炎医療の均てん化に資するよう、その実施状況に鑑み、適切な情報提供や助言を地方公共団体、拠点病院等に対して行うとともに、**更に必要な意見交換を行うものとする。**
- 肝炎情報センター戦略的強化事業、地域における肝炎対策の評価・連携体制構築支援事業（令和5年度追加）
肝炎医療の均てん化を図るため、肝炎情報センターが、都道府県間における肝炎対策の実施状況を把握し、指標を元にした評価を行うとともに、都道府県が肝炎診療連携拠点病院や地域の医療機関等との連携体制を構築するための支援を行う。

肝炎対策に係る関係者との意見交換会を実施

- <令和7年度>
①大分県開催（令和7年 6月27日）
②広島県開催（令和7年 10月17日）
③高知県開催（令和7年 11月21日）



↑R7第2回連絡協議会 肝炎情報C活動報告より

令和6年度 肝炎対策に係る意見交換会（愛知県）

開催概要

日時：令和6年10月21日（月）17:00～18:00
場所：名古屋コンベンションホール 小会議室 207
参加人数：肝炎対策推進室（3）、肝炎情報センター（4）、愛知県（4）、名古屋市立大学病院（2）、愛知医科大学病院（6）、藤田医科大学病院（2）、名古屋大学医学部附属病院（3） 計24名



1) 肝炎医療コーディネーター養成講習会における県と拠点病院、拠点病院同士の連携の取組について

愛知県肝疾患診療連携拠点病院相談・支援センター担当者会議

日時 2025年8月21日（木）名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟A3階会議室
参加人数：14名（内オンライン参加3名）参加者職種：医師（5名）看護師（4名）保健師（1名）獣医師（1名）MSW（3名）
参加施設：名古屋市立大学病院、藤田医科大学病院、愛知医科大学病院、名古屋大学医学部附属病院、愛知県庁、

背景

愛知県には4か所の肝疾患診療連携拠点病院があり、医療情報の提供、研修会/講演会の開催、相談支援業務などを担っている。複数の拠点病院があることで、より多くの患者が質の高い診療を受けられる一方、限られた医療資源を有効活用するためには病院同士の適切な連携が求められる。

肝炎対策に係る意見交換会を契機に、参加した拠点病院肝Coから愛知に
4 拠点病院実務担当肝Coが集まる機会を要望し開催が実現

展望

愛知県の拠点病院の肝炎医療コーディネーターが情報共有する場は初めてとなり有益であった。アンケートでも全拠点病院から継続希望が寄せられ、次年度以降も定期開催を検討する。さらにメーリングリストを作成し、県内全体へ情報発信を広げたい。

今後も拠点病院が連携し専門性を共有することで患者支援体制を強化し、啓発イベントにもつなげていきたい。今後も後方支援をしていきたい。



↑R7東海北陸ブロック会議 名古屋大学活動報告より

定期的開催決定



(成果)
各拠点病院内の肝Co
活動内容把握



(今後への期待)
拠点間連携強化・
肝Co研修会開催



愛知県肝Co期間
認定制へ移行

令和7年度肝炎対策地域ブロック戦略合同会議の纏め

令和7年度 肝炎対策地域ブロック戦略合同会議ハイブリッド配信を
ご視聴くださりありがとうございます

2. 総合討論/活動事例/意見交換会



↑青森県 肝Coバッチ(R7年度～)

ブロック会議の基本構成 (4時間超⇒H30～3時間→R5～ 3.5時間)

1. 厚生労働省肝炎対策推進室(80分→R1～70分 R3～50分 R4～35分 R5～30分)

R2 : オンデマンド配信のみ

2. 肝炎情報センター (70分→R1～60分→R5～40分)

- 政策研究班 (H30～指標班)
- 情報C(拠点病院現状調査結果報告)
- 肝炎の疫学
- 事務局より (R1～今後の予定やブロック会議の目的を説明)

3. 活動事例報告 (約30～40分⇒R1～35分)

・拠点病院 (2施設 H30～1施設)

→R1～拠点病院・地方公共団体 (1施設ずつ 計35分)

好事例よりも地域特徴に併せた活動報告・地方公共団体へ発言機会拡大

R1～各地方公共団体からの発表中、2施設を第2回協議会参加者向け研修会で発表し共有

4. 総合討論 (約30分) : →H30 : 都道府県から数分で活動内容報告 (挙手なし)

R1～活動内容を事前に記載⇒多くの参加者施設からコメント

R4 : 35分確保へ (参加者のコメントを)

R5から1,2 2,3間の休憩時間を10～15分→リフレッシュとともに名刺交換等施設間交流を

R7 ブロック会議の総合討論内容（35分）

1. 肝炎医療コーディネーターの活動促進に係る取り組みについて

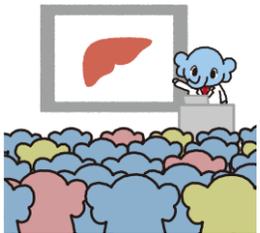
（例：肝Co養成後の活動状況、患肝Coの導入、肝Co間の連携の取り組み[院内肝Co交流会開催・スキルアップ研修会内容の工夫、SNS配信]等）

2. 肝炎医療の均てん化に対する取り組みについて

（例：肝臓専門医の偏在や医療アクセス等の課題に対して、地域毎の肝炎医療の均てん化に向けた遠隔診療やICT活用等）

3. 肝炎総合政策に係る指標（※）を踏まえた取り組みについて

（例：指標の改善若しくは向上させるための取り組み、[肝炎ウイルス検診数増加・初回精密/定期検査助成数増加、肝炎医療コーディネーター配置見直し等]）



**取組状況を1～2分程度で紹介（お伺いする拠点病院・地方公共団体
配布資料6に表記しています）**

肝疾患コーディネーター 活動内容見える化資料



令和6(2024)年9月

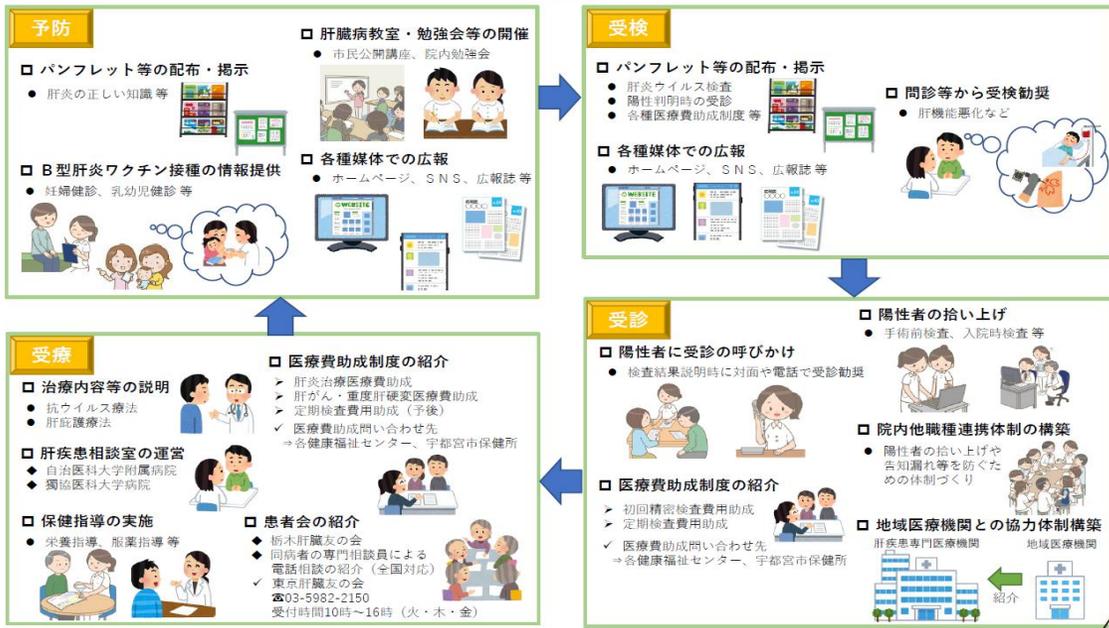
栃木県保健福祉部感染症対策課



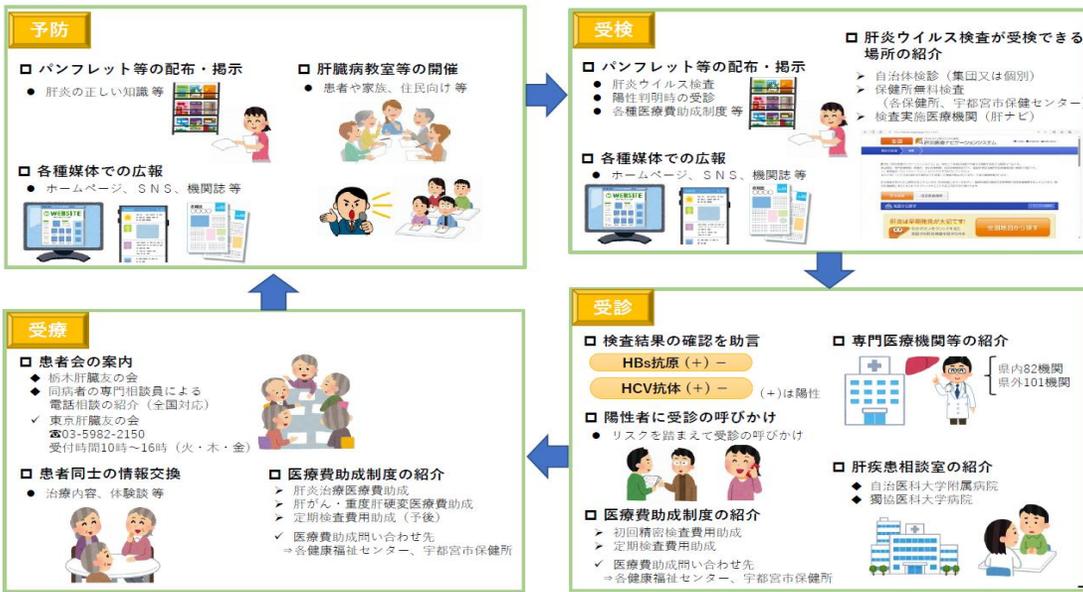
感染症対策課 感染症対策
肝炎に関する情報→
栃木県肝疾患コーディネーター
について に掲載

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e04/welfare/hoken-eisei/kansen/documents/katsudounaiyoumierukasizai.pdf>

②-1 拠点病院・専門医療機関等における主な活動内容



②-4 患者団体・一般の方の主な活動内容



埼玉県 肝炎コーディネーター 活動サポートポータル



肝炎コーディネーターって？

肝炎医療コーディネーター（肝Co）とは、
肝炎患者さんやそのご家族が安心して適切な医療や支援を受けられるように、
医療機関・行政機関・地域や職域など、さまざまな関係者同士をつなぐ橋渡しをする方々です。

例えば、以下のような役割を担っています。

- 肝炎ウイルス検査の受検を促す
- 検査で陽性となった方の早期の受診を促す
- 肝炎患者さんが継続的に治療を受けられるようにサポートする
- 行政機関や医療機関によるフォローアップが円滑に行われるようにする

埼玉県では、平成25年度から「埼玉県肝炎コーディネーター」の養成を行ってまいりましたが、平成30年度からは活動の場に合わせて

埼玉県肝炎医療コーディネーター	埼玉県肝炎地域コーディネーター
主に医療機関や薬局等で勤務する方を対象	主に行政機関や職域（民間企業等）で勤務する方や患者会会員を対象

の2種類のコーディネーターの養成を開始しました。

埼玉医科大学病院内に設置されている肝臓病相談センターでは、肝炎患者さんだけでなく、県内で活躍される肝炎コーディネーターの皆さんもサポートしています。



かんこちゃん
埼玉県肝炎医療
相談センター
マスコットキャラクター

肝炎コーディネーター活動マップ
肝臓病相談センター
この地図は Google マップで作成されました。独自で作成する。

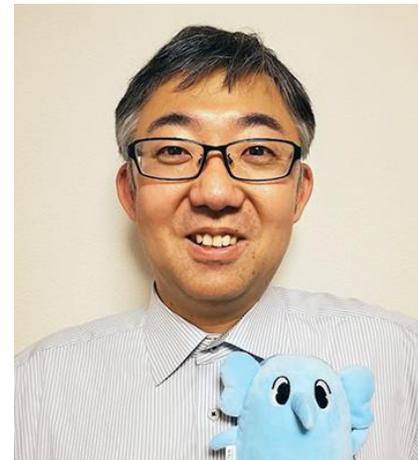
←
肝炎患者に役立つフリーレット...
➤

名前
肝炎患者に役立つフリーレットの普及活動

説明
患者
肝炎地域コーディネーター

あなたの活動、ぜひ教えてください！

このマップは、肝炎コーディネーターの皆さんの活動事例を共有し、お互いを応援



埼玉医大 内田先生



肝炎コーディネーター活動マップ

各地で活躍する肝炎コーディネーターの皆さんの活動を一目で確認できる、新しい地図型の情報共有プラットフォームです。

[詳しくはこちら](#)



肝炎コーディネーターリアルボイス

埼玉県肝炎医療コーディネーターフォローアップ研修会にご参加いただいた肝炎コーディネーターの皆さまからいただいたご意見を紹介します。

[詳しくはこちら](#)

令和7年度 肝炎対策地域ブロック戦略合同会議
(東海北陸) 総合討論→チラシ・資料は持参・web (PDF等)で共有可能

1. 肝炎医療コーディネーターの活動促進に係る取り組みについて

- 愛知県 (肝炎対策に係る意見交換会によって4拠点病院肝Co間の情報共有会開催) 会場
- 浜松医大 (院内肝Co連携会議) 会場+web
- 愛知医大 (院内肝Co連携) 会場+web
- 富山県 (肝Co研修会GWで相談センターの役割等を周知) web

アンケート:

近畿(都道府県): 総合討論における発表について、メールの案内文、資料、現地で質疑応答に対する説明の程度にばらつきがあるように感じました。

↑

コメントして欲しいことを記載してあります。提出した記載内容をそのまま発表せず、事前に確認して、考えて発表が必要+URLやチラシ等は事前にて提供を

ブロック会議アンケート結果（テーマについて R7）

①自治体の取組（拠点・自治体が希望） ②肝Co活用（拠点希望） ③FU事業（保健所設置市希望）

R5: ①肝Co活用(45%) ②自治体からの意見(43%) ③自治体肝炎ウイルス検査・FU事業(30%)

R6: ①自治体からの意見(48%) ②肝Co活用(39%) ↓ ③自治体肝炎ウイルス検査・FU事業(33%)
⇒④別ブロック(28%) ⑤がん助成(28%) ↑ 以下 疫学(26%) 他施設連携(25%)

R7: ①自治体からの意見(43%) ②肝Co活用(41%) ↑ ③自治体肝炎ウイルス検査・FU事業(33%)
⇒④肝がん助成(29%) ⑤他施設連携(25%) 以下 疫学(23%) 別ブロック(23%)

他のブロックの活動事例はオンデマンド＋今年度 LIVE視聴(New)可能です！

昨年度 終了後アンケート：329/409(80%)が他ブロックの活動報告をLive希望も・・・

	北海道・東北	関東信越	東海北陸	近畿	中四国	九州
拠点病院	11	15	13	14	16	13
地方公共団体	12	14	14	16	13	18
希望率	6.1%	8.5%	7.0%	8.7%	8.1%	8.0%

6名 12名 7名 10名 9名 9名

東海北陸ブロック 動画③
肝炎情報C_MK

令和7年度 肝炎対策地域ブロック戦略合同会議
東海北陸ブロック - 動画③ -

2. 議事
(4)拠点病院からの発表 (名古屋大学医学部附属病院)
(5)地方公共団体からの発表 (三重県)
(6)総合討論・来年度世話人挨拶

3. 閉会

東海北陸ブロック 動画③
肝炎情報C_MK

肝疾患診療連携拠点病院連絡協議会の開催
肝疾患診療連携拠点病院、肝疾患専門医療機関等で構成する連絡協議会を年1回開催し、肝疾患に関する情報交換等を実施

肝疾患医療コーディネーターの育成
肝疾患等が肝疾患医療や適正な支援を受けられるよう地域や職域の関係者間の橋渡しの機能を担うコーディネーターを育成するため、研修会を年1回開催

コーディネーター職種内訳 (R3～R6 受講者:261名)

医師	7
その他	38
看護師	79
臨床検査技師	49
薬剤師	34
歯科医師	23
公衆衛生	11
医師事務長	10
医師事務長候補	10

東海北陸ブロック 動画③
肝炎情報C_MK

R7年度の拠点病院・自治体活動報告発表施設と発表者

ご協力に感謝します→熊本大・東京都（福山市には断れました・・・）

ブロック名	拠点病院発表施設	拠点病院発表者	地方公共団体発表施設	地方公共団体発表者
東海 北陸	名古屋大学医学部附属病院 消化器内科 准教授	本多 隆	三重県医療保健部健康推進課	水谷 誓
関東 信越	武蔵野赤十字病院 消化器 内科 副部長 肝疾患相談センター 副センター長	玉城 信治	東京都保健医療局 担当部長 保健政策部疾病対策課長事務取扱	深井 園子
北海道・ 東北	北海道大学病院 肝疾患相談センター長	大原 正嗣	山形県健康福祉部健康福祉企画課 感染症対策担当 感染症対策主査	石澤 めぐみ
九州	熊本大学病院 肝疾患相談センター 副センター長	瀬戸山 博子	大分県健康政策・感染症対策課 疾病対策班	羽田野 裕貴
中国 四国	香川県立中央病院 院長	高口 浩一	福山市保健福祉局保健部健康推進課	宮川 紗季
近畿	大津赤十字病院 消化器内科 第二消化器科部長	近藤 雅彦	健康医療福祉部 健康危機管理課 感染症係	花房 小百合

令和7年度第2回肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会

参加者（医師・事業/事務担当者）向け研修会

東京都の肝炎対策について



東京都保健医療局担当部長
保健政策部疾病対策課長事務取扱
深井 園子

東京都肝炎コーディネーター養成研修について

令和3年度まで	東京都肝疾患職域コーディネーター		都内には事業所やその従事者が多いことから、職域に重点を置き、職域の健康管理担当者を対象として研修を実施。
対象者	企業・健康保険組合の健康管理担当者		
認定期間	なし		

令和4年度から

	東京都肝疾患職域コーディネーター	東京都肝炎対策コーディネーター
対象者	医療機関の職員	<ul style="list-style-type: none"> 区市町村・保健所職員 企業・健康保険組合の健康管理担当者 患者会会員
認定期間	5年間（更新するにはスキルアップ研修の受講が必要）	

肝炎対策をより推進していくため、医療機関、区市町村・保健所職員、患者会会員等に対象を拡大

○コーディネーター養成研修修了者数 (人)

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
肝疾患職域コーディネーター(～R3)	110	62	121	124	-	-	-	417
肝炎職域コーディネーター(R4～)	-	-	-	-	286	218	244	748
肝炎対策コーディネーター(R4～)	-	-	-	-	196	162	185	543
スキルアップ研修(R2～)	-	-	56	71	121	185	151	584

令和6年度は、肝炎コーディネーターを200名養成することを数値目標としており目標達成

※ 令和7年度は、肝炎コーディネーターを配置している都内肝臓専門医療機関数及び自治体数を計160か所を数値目標とする。

15分間の動画+webで質疑応答

+ 肝炎対策推進室木村室長
よりブロック会議総括